

2024 年度 一般社団法人北海道介護福祉士会 オープニング研修

【趣旨】

現在、日本の人口は減少しつづけており、このままでは 2040 年にかけてその傾向が大きくなることが予測されています。人口減少社会の到来により介護人材の確保が困難になってきています。そのため、厚生労働省は、介護現場においても積極的に『生産性の向上』を推進する考えです。

介護現場の生産性向上とは、ICT や介護ロボット等のテクノロジー等を利活用して、業務改善や効率化等を進めることにより、介護職員の業務負担の軽減を図り、生み出された時間を介護サービスの質の向上につなげることです。令和 6 年度の介護報酬改定において、「生産性向上推進体制加算」が導入され、今後、介護現場の生産性向上は具体的に推進していきます。

これから、介護現場で働く私たちはどのような理解と準備をして、生産性向上を進めていかなければならないのかについて学びます。

また、2024 年 1 月 1 日には『石川県能登半島沖地震』が発生しました。今回、避難所で介護ボランティアとして活動された方の活動報告から、これからどのような支援が必要なのかについて学びます。

【主催】一般社団法人 北海道介護福祉士会

【開催日時】 2024 年 5 月 26 日 日曜日 14 時から 15 時 30 分

【会場】 zoom

【参加費・受講対象者】 無料、どなたでも参加できます。

【申込締切日】 2024 年 5 月 7 日（火曜）迄

【参加申し込み・問い合わせ先】

参加申し込みは以下の URL、または QR コードからお願いします。

<https://forms.gle/UV1Sfi59h3qNCWPS9>

なお、申し込みをされた方には登録したメールアドレスに、zoom の ID 等を 5 月 20 日に送付致します。



【日程・内容】

時 間	内 容
13:30~14:00	受付
14:00~14:05	開会 あいさつ 一般社団法人北海道介護福祉士会 会長 野口 恵子
14:05~15:00	テーマ「介護報酬改定から見える介護の生産性向上と 介護福祉士の役割」 内容 介護報酬改定の内容から、今後の介護サービスの方 向性や、介護現場の生産性向上の推進について学ぶ 講師 北海道老人福祉施設協議会 会長 瀬戸 雅嗣 氏
15:00~15:30	テーマ「能登半島地震における 1.5 次避難所での介護 ボランティアの活動」 内容 いしかわ総合スポーツセンターの 1.5 次避難所で介 護ボランティアの活動を行った 2 名より、避難所で 要介護者に介護を行った介護スタッフの立場と、介 護チームをまとめ避難所を運営する介護リーダーの 立場としての活動報告から現地の状況といま必要な 支援について知る 発表者 介護スタッフの立場：石狩支部 腰野 充 氏 介護リーダーの立場：一般社団法人北海道介護福祉士会 副会長 酒井 賢一 氏

<お問い合わせ先>

一般社団法人 北海道介護福祉士会 事務局

TEL・FAX 011-222-5200 メールアドレス info@hokkaido-kaigo.jp

(受付時間 毎週月・火・木 13時~17時 担当：大久保・小野)

- ・上記日以外でお急ぎの場合、Tel090-1645-9407にお電話下さい。
(但し業務中は電話に出られません。折り返し連絡いたしますので、必ず留守電に
メッセージを残して下さい)